

新潟医療福祉大学ソーシャルメディア利用ガイドライン

● 個人で利用する場合の留意点

1. 新潟医療福祉大学の一員、そして社会の一員であることを自覚し、責任をもって利用しましょう。発言・投稿は、広く一般の目に触れることがあります。学生、研究者、教育機関の教職員、医療機関の従事者として、事実にもとづく正確な情報を伝えるように心がけ、資質を問われかねない軽率な発言や立場をわきまえない発言・投稿は行わないようにしてください。

2. 本学の一員であるとともに社会の一構成員であることを自覚し、節度ある行動を心がけましょう。ソーシャルメディア上での投稿や発言は、予期せぬ形で広く共有される可能性があるため、学生・教職員としての立場にふさわしい内容であることを意識してください。

3. 各種法令や利用するサービスの規約、ならびに大学の定める規則等を理解し、遵守のうえで利用するようお願いいたします。

4. 投稿・発言には個人としての責任が伴います。一度公開された情報は完全に削除できないことを踏まえ、慎重に内容を検討し、名誉やプライバシーの侵害とならないよう配慮してください。

5. 本学の関係者であることをプロフィール等で明らかにしている場合、発信する情報が大学の公式見解ではない旨を明示してください。また、第三者から大学の意見と誤解されないよう注意が必要です。

（例：プロフィールに「本アカウントの発言は個人の見解であり、大学および所属組織の公式見解ではありません」等を記載）

6. 他者の肖像や著作物などを使用する際は、本人の許可や権利の確認を行い、肖像権・著作権・商標権などを侵害しないようご注意ください。

（※大学のロゴマーク等の使用もこれに該当します）

7. 閲覧者に敬意を払い、次のような情報の発信は行わないようにしてください。

- (1) 誹謗中傷する内容
- (2) 公序良俗に反する内容
- (3) 他人のプライバシーに関する内容
- (4) 人種、宗教、身体、病気、ジェンダー、思想、信条等に関する差別的な内容

(5) 違法・有害な内容

8. 教職員が学生にソーシャルメディアアカウントの運用等を委ねる場合は、プライバシー保護やリスクに関する十分な説明と対策を講じ、トラブルの未然防止に努めてください。
9. 職務上知り得た機密情報は、いかなる場合もソーシャルメディア上で開示しないでください。ただし、「公益通報者保護法」に基づく正当な通報を妨げるものではありません。
10. ソーシャルメディア上にもセキュリティ上のリスク（ウイルス・フィッシング等）は存在します。ソフトのインストールは信頼できるものに限定し、端末のセキュリティソフトの導入や、OS・アプリの更新を怠らないようにしてください。

● 組織で利用する場合の留意点

1. 一つのアカунツの複数者による利用は、発言の責任の所在、パスワード等の管理責任の所在が曖昧となり、なりすまし発言等の事故の原因になります。組織の責任者の承認を得た内容を決められた人が発信するという運用をしてください。
2. 大学・学科公式アカウントであることを明示するとともに運用ポリシーを明示してください。
(例) ○○学科の公式アカウントです。○○学科についての情報を発信しています。お寄せいただいたご意見・ご質問にはお答えできないこともあります(原則お答えできません) のでご了承ください。また、誹謗中傷や個人情報の書き込み等があった場合は削除する場合があります。
3. 大学・学科公式アカウントを新規に開設する場合は、事前に広報委員会で審議を諮り承認を得るものとします。